



2026年度 医学部医学科・附属病院 新規採用教員のFD研修その2(2/3)

愛媛大学医学部附属総合医学教育センター



1



学生アンケートを通して 授業と成績評価について考える

愛媛大学医学部附属総合医学教育センター

小林直人



2

学生アンケートの分析結果の公表、等

コロナ後の授業のヒントを探る～学生アンケート自由記
載をもとに～、**愛媛医学**、44(2):61-70, **June 2025**

「コロナ後」の医学教育の展望と提言 ～愛媛大学での
実践経験をもとに～、**愛媛医学**、41(1):20-28, 2022

COVID-19パンデミック下の医学科臨床推論教育～遠隔
授業、ハイブリッド授業の試み～、**大学教育実践
ジャーナル**、22:55-61, 2023

松山大学薬学部医療薬学科と愛媛大学医学部2学科との
合同授業によるピア・ラーニング型の多職種連携学
習プログラム、**愛媛医学**、43(2):77-86, 2024



愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHI/E UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

3

2025年3月：授業と評価を考えるFD

【背景】

本年10月に日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価のため
の実地調査が予定されている。本FD研修ではこれを好機として、学修
を促す**授業と評価**について改めて考える。

【目的】

- 1 学生の（成績）評価には目的の異なる「形成的」評価と「総括
的」評価とがあることを理解する。
- 2 「Z世代」とも呼ばれる学生達の学びを促す**授業と成績評価**につ
いて**アイデア**を集約する。

【目標】

- 1 学生の**形成的評価と総括的評価**との違いについて具体例をあげて
説明できる。
- 2 アンケート結果から見てくる**「学生が求める」授業**（講義、演
習、実習）を説明できる。
- 3 他講座の試験問題の中から、自身の担当科目で応用できるGood
Practiceを指摘できる。



愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHI/E UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

4

授業と評価を考えるFD研修の成果から

【学生とのコミュニケーション】

- ☆実践例だけではなく提案・アイデアとして：
 - ・**対面授業中の工夫**について、「マイクを学生に渡して順番に回しな
から答えさせる」「質問後マイクを学生に回し、当てられた学生の
回りの学生も巻き込んで答えさせる」「学生に当てていく、ただし
ポジティブのフィードバックをかける」、など。
 - ・**デジタルツールの活用**について、「Lineグループで質問してもら
う」「チャットの活用、質問など自由にリアルタイムで投稿でき
る」「google formでの集計」「問題解かせてスマホで解答⇒その場
で集計して全員で見る」、など。
 - ・**口頭ではないコミュニケーション**について：「配布資料のキーワ
ードを穴埋めさせる」「授業の最後に内容のミニテストをしている」
「小テストを行い正答率の低いものについて講義中に補足する」
「レポート、スケッチ等にコメントを入れて返却する」など。
- ★「授業中、思考させる課題を出して回答させることを実践してい
るが、あまり効果ない」「グループワークの悪い面」（他の学生の努
力に依存、レベルが低いままになる）という指摘もあった。



愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHI/E UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

5

授業と評価を考えるFD研修の成果から

【学生とのコミュニケーション】

- ☆実践例だけではなく提案・アイデアとして：
 - ・**対面授業中の工夫**について、「マイクを学生に渡して順番に回しな
から答えさせる」「質問後マイクを学生に回し、当てられた学生の
回りの学生も巻き込んで答えさせる」「学生に当てていく、ただし
ポジティブのフィードバックをかける」、など。
 - ・**デジタルツールの活用**について、「Lineグループで質問してもら
う」「チャットの活用、質問など自由にリアルタイムで投稿でき
る」「google formでの集計」「問題解かせてスマホで解答⇒その場
で集計して全員で見る」、など。
 - ・**口頭ではないコミュニケーション**について：「配布資料のキーワ
ードを穴埋めさせる」「授業の最後に内容のミニテストをしている」
「小テストを行い正答率の低いものについて講義中に補足する」
「レポート、スケッチ等にコメントを入れて返却する」など。
- ★「授業中、思考させる課題を出して回答させることを実践してい
るが、あまり効果ない」「グループワークの悪い面」（他の学生の努
力に依存、レベルが低いままになる）という指摘もあった。



愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHI/E UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

6

授業と評価を考えるFD研修の成果から

【試験について】

- ☆「試験の採点基準と解説のために1コマ使用している」という講座があった。
- ☆「試験のフィードバックはあえてしないのもよいのでは？自分で教科書をあたって考える時間をとってほしい」という意見も。
- ★記述試験と多肢選択式について双方の利点と欠点を指摘する意見があった。
- ☆新しい試験の形式として、「覚えるのではなく考えさせる問題（持ち込み可＝オープンテキスト形式）」や、「診療動画を見て、疾患や誤っていること等をその場で答えさせる問題」（専門医試験で先例あり）なども議論されていた。
- ★科目間の内容の重複については、「同じ領域の科目同士はわりとかぶる」との意見のほか、「産科領域は一部小児科と重複している」など具体的な領域を指摘する意見があった。
- ☆「学習効果を高める点からも重複は問題とはならない」との意見、「重複する分野では試験等で工夫できる（1年次は多肢選択式、2年次は記述式）」との具体的な提案もあった。

愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHOE UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

7

授業と評価を考えるFD研修の成果から

【試験について】

- ☆「試験の採点基準と解説のために1コマ使用している」という講座があった。
- ☆「試験のフィードバックはあえてしないのもよいのでは？自分で教科書をあたって考える時間をとってほしい」という意見も。
- ★記述試験と多肢選択式について双方の利点と欠点を指摘する意見があった。
- ☆新しい試験の形式として、「覚えるのではなく考えさせる問題（持ち込み可＝オープンテキスト形式）」や、「診療動画を見て、疾患や誤っていること等をその場で答えさせる問題」（専門医試験で先例あり）なども議論されていた。
- ★科目間の内容の重複については、「同じ領域の科目同士はわりとかぶる」との意見のほか、「産科領域は一部小児科と重複している」など具体的な領域を指摘する意見があった。
- ☆「学習効果を高める点からも重複は問題とはならない」との意見、「重複する分野では試験等で工夫できる（1年次は多肢選択式、2年次は記述式）」との具体的な提案もあった。

愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHOE UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

8

学生アンケートから

～ポストコロナにおける学生のニーズを探る～（愛媛医学, 2025）
2022・2023年度実施の学生アンケート『学修効果を高めること』

- 1) デジタルでの講義資料の配布希望が増えてきている。また可能な限り授業後のアーカイブを残し、復習に利用したいという希望が増えてきている。
- 2) コロナ下で制限されていた「実習」や「グループワーク」などを通じて、**学生同士の密なコミュニケーション**を伴った学修が渴望されている。
- 3) リモート授業よりも、教員の「生の声」「リアル感」のある授業が求められている。
- 4) テストのフィードバックや、実習での細やかな指導、質問への回答など**教員・学生間の密なコミュニケーション**が求められている。

愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHOE UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

9

学生アンケートから

～ポストコロナにおける学生のニーズを探る～（愛媛医学, 2025）
令和4・5年度実施の学生アンケート、学修効果を高めるために重要視

- 1) デジタルでの講義資料の配布希望が増えてきている。また可能な限り授業後のアーカイブを残し、復習に利用したいという希望が増えてきている。
- 2) コロナ下で制限されていた「実習」や「グループワーク」などを通じて、**学生同士の密なコミュニケーション**を伴った学修が渴望されている。
- 3) リモート授業よりも、教員の「生の声」「リアル感」のある授業が求められている。
- 4) **テストのフィードバック**や、実習での細やかな指導、質問への回答など**教員・学生間の密なコミュニケーション**が求められている。

愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHOE UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

10

20	様々な感染対策の効果も「当然」として肯定するのは危険ではないか、批判的な視点も同時に持つべき
21	地震災害との比較からマニュアルの項目まで具体化できた、段落の第1文がキーセンテンスに揃えられていて読みやすい
22	アンケート調査前に仮設を立て450件以上の回答を精査してその結果を考察した論文執筆をする、どう研究デザインが極めて優秀、改ページの位置まで配慮されている、高校での課題研究の指導の賜物か、それでも強いて言えばマスク着用（非言語的なコミュニケーションなどへの）ネガティブな側面についての考察も欲しい
23	レポートの中で使用される専門用語の定義にこだわって書いているのが良い
24	1万字近い分量を一冊書き上げたことは伝わるのだが、「数値は表にする」1章ごとに1行開け、段落を揃えるに区切る「など工夫が必要」特に前半は自身の体験も踏まえてよくかいている、「お墨付き」に対する批判的な考察が必要
25	
26	新しい生活様式と地震臨時情報にはもっと類似点があるのではないかな
27	自分の好きな分野をテーマにするのは良いのだが、ここではVTuberの説明に終始し深い考察ができなかったか
28	アンケート結果からポイントを二つに絞りさらに情報発信のキーワードも二つに絞ったことが評価できる、効果的な発信の提案も具体的内容如何の以前に、「だ・である」体どです。ます」体が混在して不適切
29	

- 4) テストのフィードバックや、実習での細やかな指導、質問への回答など**教員・学生間の密なコミュニケーション**が求められている。例）「医学基礎セミナー」レポートへのコメント

愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHOE UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

11

学生アンケートから

～ポストコロナにおける学生のニーズを探る～（愛媛医学, 2025）
令和4・5年度実施の学生アンケート、学修効果を高めるために重要視

- 1) デジタルでの講義資料の配布希望が増えてきている。また可能な限り授業後のアーカイブを残し、復習に利用したいという希望が増えてきている。
- 2) コロナ下で制限されていた「実習」や「グループワーク」などを通じて、**学生同士の密なコミュニケーション**を伴った学修が渴望されている。
- 3) リモート授業よりも、教員の「生の声」「リアル感」のある授業が求められている。
- 4) テストのフィードバックや、**実習での細やかな指導**、質問への回答など**教員・学生間の密なコミュニケーション**が求められている。

愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHOE UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

12

用語解説： 形成的評価と総括的評価

【総括的評価】

- ・学生の成績、単位認定、修了判定に用いられる

【形成的評価】

- ・学生への指導、フィードバックに用いられる
- ・評点をつける ◀ 適切にフィードバックする
- ・臨床実習で学生を指導する時、指導者は実習中に実習の現場で学生の学修レベルを評価しながらそのレベルにあった指導をすることが必要でありそれが形成的評価である。

(令和4年度改訂版 医学教育モデルコアカリキュラム p.203)

用語解説： 形成的評価と総括的評価

【総括的評価】

- ・学生の成績、単位認定、修了判定に用いられる

【形成的評価】

- ・学生への指導、フィードバックに用いられる
- ・評点をつける ◀ 適切にフィードバックする
- ・臨床実習で学生を指導する時、指導者は実習中に実習の現場で学生の学修レベルを評価しながらそのレベルにあった指導をすることが必要でありそれが形成的評価である。

(令和4年度改訂版 医学教育モデルコアカリキュラム p.203)

臨床実習での形成的評価 (フィードバック)

【mini-CEX】

- ・mini-Clinical Evaluation eXercise
 - ・簡易版臨床能力評価
 - ・学生が医療面接(病歴聴取)や身体診察を行う際に、指導医が直接観察して、下記に挙げた観点から学生のその臨床能力を評価し、**フィードバック**する。
- ①病歴聴取 ②身体診察 ③コミュニケーション能力 ④臨床判断 ⑤プロフェッショナリズム ⑥マネジメント ⑦総合

(令和4年度改訂版 医学教育モデルコアカリキュラム p.203)
(<http://jsme.umin.ac.jp/guide/la22/text/idx2.html>)

臨床実習での形成的評価 (フィードバック)

【mini-CEX】

- ① 病歴
 - ・病歴で聞くべきことを聞いたか
 - ・その時点で把握しておくべき情報をしっかり聞いたか
- ② 身体診察
 - ・その時点でとることが望ましい項目をチェックしたか
 - ・患者の不快感、遠慮、守秘義務、個人情報につき注意を払ったか
- ③ コミュニケーション
 - ・患者が話しやすいように話をきけたか
 - ・非言語コミュニケーション(視線や表情、姿勢など)で不快感を与えなかったか
 - ・患者の理解度を確認したか
- ④ 臨床判断
 - ・診断的検査を適切に選択し、指示・実施をしたか
 - ・患者にとっての利益とコスト・リスクを考慮したか
 - ・可能性の高い疾患、見落としはしていない疾患を考えたか
- ⑤ プロフェッショナリズム
 - ・患者に対して敬重、思いやり、共感を示し、信頼関係を形成したか
 - ・患者の不快感、遠慮、守秘義務、個人情報につき注意を払ったか
- ⑥ マネジメント
 - ・適切な治療法を選んだか
 - ・アセスメントとプランを患者が納得いくように説明したか
 - ・患者が何に注意したいのか、次はどういう行動をとりたいかを説明したか
- ⑦ 総合的臨床能力
 - ・優先順序をつけたか
 - ・タイミングがよかったか
 - ・無駄がなく迅速だったか
 - ・患者も評価者も納得でき、有効な判断をしたか
 - ・観察者がいなくてもこの患者を1人で診察できたか

臨床実習での形成的評価 (フィードバック)

【mini-CEX】

mini-CEX 簡易版臨床能力評価法

6項目評価+総合的臨床実践力

- ・診療体験学習の支援ツール
- ≠ 合否判定
- ・実施の流れ
 - ① 20分診察を観察
 - ② 評価
 - ③ 即時フィードバック

臨床実習での形成的評価 (フィードバック)

【DOPS】

- ・direct observation of procedural skills
 - ・臨床技能直接観察評価
 - ・学生が臨床手技を行う際に、指導医が直接観察して、下記に挙げた観点から学生のその臨床能力を評価し、フィードバックする。
- ①適応、解剖、手技の理解 ②インフォームド・コンセントの取得 ③事前の準備 ④技能 ⑤清潔操作 ⑥安全への配慮・援助の要請 ⑦手技後の管理 ⑧コミュニケーション ⑨プロフェッショナリズム ⑩総合(概略評価)

(令和4年度改訂版 医学教育モデルコアカリキュラム p.205)

臨床実習での評価

【DOPS】

- direct observation of procedural skills
- 臨床技能直接観察評価
- 学生が臨床手技を行う際に、指導医が直接観察して、下記に挙げた観点から学生のその臨床能力を評価し、フィードバックする。

(小児科新専門医制度評価用紙) 検索《小児科学会 DOPS》

DOPS：臨床手技評価
以下の項目に記号を記入してください

専攻医氏名： _____
所属医学科： _____
臨床技能： □一般外来 □救急外来 □病棟 □その他() _____
手技名： _____
専攻医が実施した同じ手技の回数： □0 □1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10以上
症例の種類： □基 □平均 □難

以下の評価をお願いします
A: 完全に達成している B: 達成している C: 今や成る D: 成る N: 評価不能

	A	B	C	D	N
1 適応や解剖の理解と技術	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 インフォームドコンセント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 適切な準備、前処置	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 適切な説明、同意取得	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 無菌操作 (感染予防知識)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 チームワーク、支援を求める	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 処置後のマネジメント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 コミュニケーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 プロフェッショナリズム	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 総合評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

良かった点 _____
改善すべき点 _____
レベルアップのための合意した行動 _____
評価者署名 _____ 日付 _____
評価者が観察したDOPSの回数： □0 □1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10以上

19

用語解説： 形式的評価と総括的評価

その場で「いいね！👍」と褒める (良く無いことはその場で正す)

【形式的評価】

- 学生への指導、フィードバックに用いられる
- 評点をつける << 適切にフィードバックする
- 臨床実習で学生を指導する時、指導者は実習中に実習の現場で学生の学修レベルを評価しながらそのレベルにあった指導をすることが必要でありそれが形式的評価である。

(令和4年度改訂版 医学教育モデルコアカリキュラム p.203)

愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHIIE UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

20

人工知能（生成AI）の使用について

学生に**生成AIの使用**を許可するか？

- ☆学修の効率化が図れる。
- ★レポートを生成AIで書いてしまう。
- △禁止されてもこっそり使っている。
- ▲学生が自分から頭を使わなくなる。

認知的怠惰、メタ認知的怠惰の恐れ (OECD)

⇒愛媛大学では、注意喚起と一定の制限のもとで使用をすすめている。
⇒医学科では、レポート作成にあたっては抑制/禁止

愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHIIE UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

21

人工知能（生成AI）の使用について

学生に**生成AIの使用**を許可するか？

- ☆使用上のルールを明確にして提示する。
- ★ルールを守らない場合のペナルティも。
- △紙媒体で解答を提出させることの意義

☆生成AIと医療者教育シリーズ 連続ウェビナー
検索《医学教育学会 ICT》
<https://sites.google.com/jsme-work.jp/ict-genai-symposium/>

小林、永井、木村：学生のレポート作成に生成AIを使わせてみた件、医学教育 掲示板 (意見)、55(1):44-45, 2024

愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHIIE UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

22


参考になるウェブサイト

- ☆簡易版臨床能力評価法 (Mini-CEX)
検索《医学教育学会 Mini》
<http://jsme.umin.ac.jp/guide/la22/text/idx2.html>
- 検索《日大医学部 Mini》
<https://numed-education-center.com/2024/05/28/mini-cex/>
- 検索《小児科学会 Mini》
https://www.jpeds.or.jp/modules/specialist/index.php?content_id=68
- ☆臨床手技の評価に関する評価 (DOPS)
検索《信州大学 DOPS》
https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/medical_education/support/knowledge/2021/04/post-24.php
- 検索《小児科学会 DOPS》
https://www.jpeds.or.jp/modules/specialist/index.php?content_id=68
- ☆生成AIと医療者教育シリーズ 連続ウェビナー
検索《医学教育学会 ICT》
<https://sites.google.com/jsme-work.jp/ict-genai-symposium/>

愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHIIE UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

23

ご視聴ありがとうございました。



学生アンケートを通して
授業と成績評価について考える

愛媛大学医学部附属総合医学教育センター
小林直人

愛媛大学大学院医学系研究科/医学部
EHIIE UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE/SCHOOL OF MEDICINE

24